

## 今後の健康政策推進に求められる健康教育者の資質・能力

健康教育者の国際動向 ～米国のヘルスエデュケーターの動向を踏まえて～

健康教育の計画・実施・評価の力量アップ

～行動変容・QOL向上のための効果的な健康づくり支援プランニングカ～

平成 30 (2018) 年

平成 31 (2019) 年

日時：10 / 14 (日) または 1 / 13 (日) 10 時～17 時 (13 時～14 時昼食)

(同一科目を 2 回受講することはできません)

場所：女子栄養大学駒込キャンパス 3 号館 3 階 3303 教室

参加費：6,000 円 (事前申し込み必要)

公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士、健康運動実践指導者更新単位 (講義 6 単位)

### 健康教育者の国際動向

講師 鈴木 紀秀 (10 時から 13 時)

米国の健康教育者 (Health Educators) は医療機関、非営利団体、政府、診療所、民間企業、大学など、様々な環境で活躍しており、その平均年収は約 500 万円であり、今後も雇用は拡大傾向にある。雇用拡大の理由は健康教育者が、人々に対して健康的な習慣や行動や医療サービス等の利用の仕方等を提言することにより、人々の健康状態を改善し、米国医療の課題である医療費削減に貢献しているためである。このため、健康教育者には行動変容や健康教育プログラムの企画・実施・評価、不健康な行動の要因となっている環境や規制等への働きかけ、コーディネート等の役割が求められている。本講義では米国での健康教育者の活動状況等を紹介し、我が国の健康教育に求められる役割について学ぶ。

### 健康教育の計画・実施・評価の力量アップ

講師 大津 一義 (14 時から 17 時)

健康日本 21 (第 2 次) が進行中である。中でも、健康づくりのための行動をしない人に対し、行動変容を促し QOL を向上するための効果的な健康づくり支援プログラムの開発・提供と人材育成・確保が全ての自治体等に求められている。本講義では、今後の健康政策の方向を踏まえ、その人材育成として、健康教育者のプログラム開発力を高める演習を、生活の質 (QOL) と社会環境の質の向上、KAP モデル、行動変容理論、Research を含む PDCA マネジメントサイクル、6W2H、ライフスキル、ヘルスリテラシー、ソーシャルキャピタルなどの要件を含むプリシード・プロシードモデルを中心にして参加者の健康課題 (肥満予防、喫煙防止など) に応じて行う。

### 申し込み方法

[オンライン申し込みはこちら](#)

FAX またはメールにてお申し込み下さい。詳細はホームページよりご参照下さい。 <http://www.eiyo.ac.jp/jheto/>

**\*健康運動指導士、健康運動実践指導者更新単位 (講義 6 単位) 登録番号を必ず事前にお知らせ下さい。**

〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田 3-9-21 女子栄養大学保健管理学研究室内 NPO 法人日本健康教育士養成機構健康教育士係

TEL : 049-283-2317 Fax: 049-284-2861 E-mail: [npohe@eiyo.ac.jp](mailto:npohe@eiyo.ac.jp)

振込先: ゆうちょ銀行 (口座番号 記号 10100 62691281 加入者名: 特定非営利活動法人日本健康教育士養成機構)

【お振込みが事前に確認できない場合は受講できない場合があります。また、一度お振込みされた受講料の返金は致しかねます。】